



京都府立大学 第64回 生命分子化学科セミナー

《講師》

馬場 康弘 氏

大阪湾広域臨海環境整備センター 常務理事（現在、環境省から出向中）

（写真は福島県大熊町・双葉町の福島第一原子力発電所周辺に設置された中間貯蔵施設。環境省が福島県内で実施した除染に伴って発生した、セシウムに汚染された土壌や焼却灰を貯蔵している。地権者約2,000名の苦渋の選択により設置された。）

《演題》

**環境省（国家公務員）での仕事について
～もはやブラック霞が関ではない～**

《場所》 **京都府立大学稲盛記念会館106号室（1階）**

《日時》 **2023年8月4日（金）16時00分～17時00分**

《講演内容》

多くの課題を抱える現代社会において、環境省は課題対応型省庁としてますます重要な役割を担っています。本講演では、演者が、環境省の職員として、社会の課題に対して、どのように対応し、解決に向けて取り組んできたかについて紹介します。また、国家公務員の勤務時間などの待遇やキャリアパスなどについても紹介します。一緒に環境省の職員として社会の課題解決に貢献してみませんか？

《連絡先》 中尾淳（土壌化学研究室）：

Dr. Atsushi Nakao (Lab. Soil Chemistry)

E-mail; na_4_ka_triplochiton@kpu.ac.jp, Phone; 075-703-5652

Room1106（1号館1階）, Kyoto Prefectural University